

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）				
担 当 者	倉本 卓				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.9	4.5	4.6	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
高度な内容を学ぶ専門科目や実習が開催さる中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。 学生による授業評価調査における、「この授業でよいと思った点」に関して、本当に多くのコメントいただきましたこと、大変うれしく思います。また、総合評価においても、非常に高い評価を頂けたこと、大変光栄に思います。ありがとうございました。私の講義を通じて、本講義内容の重要性と共に、診療放射線技師の魅力や、やりがいなどを、臨床現場にいた経験者として皆さんに少しでも伝えられていたらうれしく思います。 また、「この授業で改善すべきだと思った点」に関して、何のコメントがなかったことも嬉しく思います。ですが、皆さんの要求などを踏まえて改善していければと思っていますので、今後多くの意見を頂けたら幸いです。 2年生になり、専門科目が多く急に難しい講義が増えたように感じられているかもしれませんが、皆様は3年後には医療現場の最前線に立つことになります。ここで学んだことは、臨床業務に直結することばかりです。少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。また、分からない問題や、悩みに対して、自ら考え取り組む習慣について、少し意識した行動を心掛けてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができればと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	医療英語				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.2	4.2	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
授業には伊藤先生と寶部先生も参加してくださって、3人で進めるという形でした。伊藤先生と寶部先生がそれぞれ専門の解説をしてくださって、英語の文法や表現は山崎が担当するという形で進めました。各検査の英語の動画も伊藤先生と寶部先生が解説付きで流してくださったので、その後の英文解釈の助けになったのではないのでしょうか。また先輩方が実際に英語で患者対応をしている動画も見てもらいました。この動画は好評で「先輩方が英語を話している姿を見て意欲がわいてきた」「私にもできる気がしてきた」というコメントが寄せられました。授業内の教材というだけでなく、職場で英語対応をする場面になったときに思い出してもらえれば嬉しいです。 授業の最初にも言いましたが、診療放射線技師養成のための英語のテキストは市販されていません。そのため伊藤先生が中心となってテキストを作成しました。皆さんのテキストは、現場でよく使われる会話が中心になっています。またその他の練習問題も現場で役に立つだろうというものを集めています。これからも利用してほしいと思います。 授業の仕上げとしてグループワークで会話を作成し、その成果をネイティブの先生に披露してもらいました。時間の関係で全グループに発表してもらうことはできなかったのが残念でした。でも発表してくれたグループはいずれもよくがんばってくれました。また他のグループも提出された原稿を見ると、これまで学んだことをしっかり覚えていてくれたということがわかりました。 「医療英語」で学んだことはこれから先に必要な英語のほんの一部にしか過ぎません。今後は自分にあった英語の付き合い方を見つけてもらえればと思います。伊藤先生、寶部先生がお話くださったように「英語が必要な時」は往々にして突然やってきます。臨床現場で戸惑うことがないように、この授業のテキストを時々ふり返ってください。医療に携わると英語は必ず必要になってきます。将来にわたって自律&自立した英語学習者になってくれることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医療コミュニケーション				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
前期は必修コミュニケーション論を履修し、後期は医療現場に特化した本科目を選択 履修してくれたことに感謝します。 皆さんから高い評価をいただき嬉しく思います。 そして、毎回席を変えてグループディスカッションを行ったことが良かったという声を多くい ただきました。学んだことを将来、実習の際に役立てていただけたら幸いです。実践しなければ意味はありません。最後に「本当のプロフェッ ショナルとは、平常心ではなく”良い緊張感”をもって仕事に臨む」私はそう思います。頭の片 隅に置いておいてください。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	救急医学概論				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.7	4.7	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
この科目では、救急医療の概論をはじめ、日常生活で生命の危機に瀕した人に対する処置、そして診療放射線技師として救急医療に携わるために必要な知識や技術について、講義形式で行いました。開講時期が臨床実習直前でもあり、救急医療の現場の緊迫感や実際の手技などをリアルに感じてもらうために、動画やケース、臨床画像などを多く取り入れました。 特に、業務拡大の一環として、診療放射線技師による読影の補助、救急医療における STAT 画像の報告などの取り組みも行われていることから、生命の危機に関わる重要な所見については特に時間をかけて解説を行いました。その効果もあってか、11 月から始まった臨床実習では、複数の学生さんからこの科目で学んだことが実際に役に立ったと耳にし、科目担当者としてとても嬉しく思います。 一方で、X 線画像における所見を説明する際の画像について、授業では 1 ページあたり 4 コマのプリントもしくは PDF ファイルを配布しておりましたが、プリントの画質が非常に悪いとの指摘を多数いただきました。8 号館に導入されている印刷機にて高精細モードで印刷をしていますが、現在導入されている印刷機では今以上の画質で出力することができない状況です。学修効果を高めるためにも配布資料の画質改善、i-Pad 等による閲覧を進めるなど改善していければと思っております。 私が診療放射線技師として勤務していた際に、チーム医療の実践、診療放射線技師としての使命を特に強く感じたのは救急医療でした。私の授業がみなさんの将来に少しでも役に立てれば幸いです。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	X線撮影技術学Ⅲ（C T）				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
4.0	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
X 線 CT 検査は、空間分解能が高く、検査時間が速く、3D 画像などの画像処理を行うことでより詳細な体内情報を提供することが可能です。そのため、病変の有無のみならず、鑑別診断や術前シミュレーション、経過観察など、現在の医療では欠かせない重要な検査となっています。その一方で、被ばく線量の増加や膨大なデータ量、アーチファクトの問題が出てきています。 私は、大学の時に受けた CT の授業と臨床実習がとても面白くて、診療放射線技師になったら絶対 CT を担当したいと強く思いました。運よく 1 年目から CT を担当することができ、そして今はみなさんに CT を教えることができて本当にうれしく思います。 診療放射線技師は、見えない病気を写し出す「病気の第一発見者」です。医師よりも先に画像を目にします。そのために、私たち診療放射線技師には、X 線 CT 装置の管理や画質の調整、造影剤量やタイミング、検査手法、3D 画像処理などの知識・技術のみならず、読影する力も必要となってきます。 この科目では、できるだけみなさんに興味を持ってもらえるように、また、理解してもらえるように授業の補助教材としてスライド資料、まとめプリント、動画資料、そして過去問を公開しました。わかりやすかったというコメントや総合評価についても学科平均よりも高い評価をいただく一方で、補助教材の公開のしすぎは、欠席や居眠り、授業を集中して聞かない、後から配信される動画を見ればなんとかなるなどの受講態度の悪化や、みなさん自身が疑問や探究心を持ち、自らの努力を持って理解すべき貴重な学修の機会を奪ってしまったのではないかと考えています。また、今年度特に残念だったのが、まとめプリント、動画資料、過去問を公開していましたが、定期試験までに十分に活用しきれなかった学生さんが散見されました。 今後は、学生のみなさんの評価やコメントを取り入れつつ、みなさんが興味を持ち、そして主体性を持って学修できる授業を展開できるよう頑張りたいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	画像診断機器学実習 I				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
この実習では、「画像診断機器学 I」「画像診断機器学 II」をはじめ、講義（座学）で学んだことを実際に実習で体験することで、知識や技術を定着させることを目的としています。ブルーの実習着を着た学生さんたちが、実際の診断医療機器を触り動かし、楽しそうに、そして興味深そうにみんなでワイワイと実習に参加してくれていたのはとてもうれしく思いました。 ガイダンス等で説明をしましたが、画像診断機器学は国家試験の科目であり、200 問中 20 問を占める重要な科目ですが、科目の特性上理解が難しく、学生さんが非常に苦戦する科目です。また、大型の医療機器と放射線を用いて検査や治療に携わる診療放射線技師にとってもとても重要な科目です。病院では、検査で使用する機器や画質の管理は、私たち診療放射線技師がその役割を担っています。機器の管理をおろそかにしていると、画質の低下によって指摘できる病変が指摘できなくなったり、被ばく線量が増加したり、時には大きな事故にも繋がってしまい、患者さん自身のみならずその予後にも大きく関係することとなります。この時、患者さんのすぐ傍で機器を操作し検査や治療に携わっている私たち診療放射線技師が知らない・分からないでは通用しません。 そのためこの実習では、臨床や国試で重要とされている項目を中心に実習内容を決定しています。決して難易度の高すぎる実習内容ではありません。2 年生が終了し、「座学」が終わり、「実習」が終わりました。次は医療現場でこれらの大型機器をどのように駆使し検査や治療が行われているのか、臨床現場で学ぶことになります。その準備はできていますか？ もし、「座学」「実習」が終わってもまだ知識や技術が定着できていない学生さんは、今一度この科目の重要性を認識していただき、ぜひこの機会に座学からの復習を強く求めます。 今回の実習グループの構成について、複数の学生さんからご意見をいただきました。男女交際を含めた人間関係をアンケートで調査してほしいという要望もありましたが、プライバシー等も考慮し実施は難しいと感じています。予め実習グループを公開していますので、もし何か問題があるようでしたら連絡をしていただけると、配慮はできるかと思います。 みなさんの実習が円滑に進むよう、実習グループ、実習内容等、適宜改善していきたいと思っています。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	情報メディア演習				
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.5	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
皆さん、情報メディア演習の受講、お疲れさまでした！ この授業を通して、情報の扱い方やメディアの活用方法について学び、診療放射線技師として必要なスキルの基礎を身につけることができましたと思います。医療の現場では、正確な情報を適切に活用することが求められます。今回の学びが、これからの専門的な知識の習得や実習、さらには将来の現場で役立つことを願っています。 これからも学び続ける姿勢を大切に、情報を正しく活用しながら、専門職としての力を高めていってください。皆さんの今後の成長と活躍を楽しみにしています！					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射化学Ⅰ				
担 当 者	長谷川大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.7	4.8	4.6	4.8	
学生へのメッセージ					
みなさん、授業評価いただきありがとうございます。 「授業資料が分かりやすい」という意見を多くいただきました。 みなさんからいただいた意見を参考に、今後も改善に努めていきたいと思ひます。 本授業は2年生で行われる「核医学検査技術学」の基礎となる科目です。 診療放射線技師は「放射性医薬品」を取り扱って仕事をしますので、放射性医薬品の基礎知識である、放射性壊変・半減期・放射平衡については特に理解を深めてほしい内容になります。 放射化学Ⅱでも復習しますが、不安な方は是非復習をしておいてください。 授業で何か分からない点がありましたら、お気軽に質問にきてくださいね。 これからも頑張っていきましょう！					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	対人援助論				
担 当 者	江崎ひろみ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.6	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。 本科目は 1 年後期後半で、放射線技師がどのように対象（患者やその家族）へ安心をもたらす安全・安楽な対応をされているのか、これから本格的に学ばれることと思います。対象（患者）に触れ、対象（患者）の安全を守るには、先ずは観る視点が必要となります。本授業で得た基本的な知識を「観る視点」のひとつとしてもらい、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	診療画像検査学Ⅰ（MRI）				
担 当 者	金本雅行				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.7	3.9	4.0	3.8	4.2	
学生へのメッセージ					
皆さん、アンケートにご協力いただきありがとうございます。以下に、いただいたフィードバックに基づく改善点をお知らせします。 レジュメについては、穴埋め形式やインタラクティブな要素を取り入れ、文字サイズを大きくして見やすくします。また、スライドの枚数を減らし、重要な部分を強調します。 授業の進行については、話すスピードを調整し、理解しやすい授業を心がけます。授業のペースは適切とのことなので、このペースを維持します。 小テストについては、締め切りを早めて解説の時間を確保し、復習の機会を提供します。解説も追加します。 授業に興味を持っていただけたことを嬉しく思います。今後も興味を引き続ける授業を提供していきます。皆さんのフィードバックをもとに、より良い授業を目指して改善していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射線物理学 II				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.1	4.1	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
放射線物理学を系統的に学習するというコンセプトでしたが、放射線物理学Ⅰでの理解度を元に、進めたつもりです。放射線は目に見えない物ですので、それをいかにイメージするかが理解のポイントになります。 ①この授業でよいと思った点 ・授業スライドをマナバ上に載せてくださっていたおかげで、復習がしやすかったこと ・授業の初めに毎回小テストがあるので前授業の復習がしやすい。プレテストもいい復習の機会になった。 ②この授業で改善すべきだと思った点 ・プレテストの解説が欲しいです ・もう少しばかり、スライドの文字を間違えないでほしいです。たまに数値を間違えていてとても困ってしまいます					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	放射線計測学実習				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
前期の放射線計測学で学んだ知識を、実習で用いることにより、知識の定着を図るコンセプトでした。manaba 上へレポートをアップするようにしましたが、数人は間違えたファイルを添付したり、遅れたりしましたが、今後は改善してもらえれば良いです。発表会で学生からの質問がもっと出るようになって欲しいです。 ①この授業でよいと思った点 ・講義のみでは理解できなかったところの理解が深まったと感じたので良かったです。 ・難しい内容も多かったが楽しく意欲的に取り組むことができたと思う。 ・授業のスピードが良かった。 ・Word での提出が期間内であれば再提出をできるのが良かった。 ②この授業で改善すべきだと思った点 ・MR の実習が 1 番最初で 1 番分からなかったのが残念だった。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射線計測学Ⅰ				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
新カリキュラムになり、初めての授業で、より放射線計測学を系統的に学習することができた と思います。2 年前期の放射線計測学Ⅱ でさらに理解を深めてもらい、2 年後期の放射線計測 学実習でさらに理解を深めてもらいたいと思います。					
①この授業でよいと思った点					
・ 早めにプレテスト問題配ってくれて嬉しかったです					
・ 2 講義に一度くらいのペースでプレテストを下さったので、復習がしやすかったです。 あ					
りがとうございました。					
・ 毎回小テストを行うので復習しやすいです。					
②この授業で改善すべきだと思った点					
・ 小テストの解説が欲しい時があります					
・ 誤字が多いのをなんとかしてほしい					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）				
担 当 者	浦 みどり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.8	4.4	4.4	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
授業評価にご協力いただき、ありがとうございました。また、授業へご意見など、沢山のコメント、ありがとうございました。全体的に高評価を頂き、皆さんが一生懸命授業に取り組んだ成果が、このような形で現れたのだと思います。 「静かなクラス」という印象でしたが、皆さんのやる気や頑張りがジワジワと見えてきて、私自身も楽しく授業をさせて頂きました。ありがとうございました。限られた時間の中で、超音波の楽しさを十分に伝えられたか、また授業や試験の難易度を上げた方が良かったのではないかなど、反省は尽きませんが、まずは超音波検査に少しでも興味を持っていただけて良かったと思います。授業の難易度については、国家試験問題を網羅していますので、恐らく今の皆さんの知識で、今年度のエコー・眼底の国試問題は、かなり解けると思います。機会があれば、春休み中にでも取り組んでみてください。きっと実力がついたことを実感できると思いますよ！ また、小テストの際に皆さんから沢山の嬉しいコメントや次に生かしたいご助言を頂けたので、少しずつですが改善できたように思います。特にクイズ（国試の過去問なども）や小テストについては、毎回意欲的に取り組んで頂き、私も作り甲斐がありましたし、授業評価でも多くの皆さんから「解説が良かった、分かりやすかった、取り組みやすかった、傾向が掴みやすい」などなど前向きな評価を頂きました。小テストのあと「授業のレジュメと教科書で復習しておいて下さい」というスタンスで、授業では足りないように感じていた「自分で調べ、考える姿勢」を養うために、自分で復習をして頂きたいと思いましたが、上記のように、解説が良かったとのコメントを多々拝見し、自主的な取り組みだけに頼らず、少しずつでも解説をする機会を設けた方が、皆さんの学習効果や知識の定着率が高まるように感じられました。今後も時間配分や自主性と学習効果のバランスを考えながら取り入れたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございました。 もし、4年生の国試対策等で皆さんにお会いできるようでしたら、また一緒に勉強しましょう。ありがとうございました！					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	生理学				
担 当 者	堀江修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.0	4.0	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
授業評価をいただきありがとうございます。Ⅰ学生自身（3.7 / 3.9：当科目平均 / 学科平均とする）、Ⅱ授業内容（4.0 / 4.3）およびⅢ授業方法（4.0 / 4.3）、Ⅳ学習成果（4.1 / 4.3）およびⅤ総合評価（4.1 / 4.4）のように、学科平均を 0.3 程度下回りました。今回 R 科ではじめて担当した「生理学」です。M 科でも平均を 0.3 程度下回ったので、私の力不足を痛感するとともに基礎医学の人気のなさを実感しました。生理学はどちらかという古典的な学問で、大きな topics というのは少ないです。新しいことで興味を引くようにすることは期待できないため、医学基礎力を高めるような授業を心がけたいです。そのためには難しい教科書を徹底的に理解してもらうことを目指します。「聞きやすい話し方」（3.9 / 4.3）は 0.4 ポイント以上下回っているので、ここを最優先に改善します。その他 M 科と異なってまんべんなく少しずつ評価が低いのでそれぞれ修正して、平均点以上の授業に改善したいです。					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医用工学Ⅱ（電子工学）				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.6	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」や「授業はわかりやすい内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。 昨年もそうだったのですが、欠席が多い人が目につきました。持病がある方は仕方ありませんが、2 年次以降どんどん学ぶ内容は難しくなっていきますので、しっかり授業に出てください。あまり授業中では演習問題を解くということができなかったのですが、電子工学の教科書等を見てもらえたらと思います。					